

パテンシーカプセル開通性評価検査を受ける患者さんへ

開通性評価前の飲食

- 検査の前日の夕食は、消化の良い食事をとってください。
- 検査の前日午後 10 時以降は、薬を飲んでいる方だけ服薬に必要な少量の水を飲んで結構ですが、それ以外の方は、水分も食事も摂らないでください。
(検査前 8 時間前より絶飲食)
- 検査の開始 2 時間前からは、薬も一切飲まないでください。
- 検査の 24 時間前からは喫煙を禁止してください。



開通性評価の手順

1. 消化管開通性確認用カプセルを口に入れ、少量の水で飲み込んでください。

注意：カプセルは噛まないでください。

2. カプセルを飲み込んだら、少なくとも 2 時間は物を食べたり飲んだりしないでください。
3. 4 時間たったら軽い食事をして大丈夫です。
4. 開通性評価中に、腹痛・吐き気、嘔吐などを催した場合は、ただちに担当医師に知らせてください。
5. 排便の中からカプセルの回収を行なってください。

気づかずに流してしまった場合は開通性なしの判定となり、カプセル内視鏡の検査は施行できません。

6. 回収したカプセルは、水ですすいで、指定の回収用袋に入れ、翌日の 15 時（カプセルを飲み込んでから 30～33 時間）に持参して外来受診してください。いかなる理由でも来院時間が遅れた場合、開通性なしの判定となってしまいますのでご注意ください。
7. 外来でカプセルの形状を意思が確認して開通性を判定いたします。
8. 排出の確認ができずにカプセルが回収できていない場合はレントゲン撮影を行い、開通性の判定を行います。



消化管開通性確認用カプセルが回収された場合：

- 医師が回収された消化管開通性確認用カプセルを確認し、開通性評価を行います。
- 医師が開通性ありと判断した場合は、医師の判断によりできるだけ速やかにカプセル内視鏡検査をお受けください。
- 医師が開通性なしと判断した場合は、カプセル内視鏡検査が実施できません。

消化管開通性確認用カプセルが回収されなかった場合：

- 嚥下 X 線検査を実施し、体内にある消化管開通性確認用カプセルの存在を確認し、医師によって開通性の判断が行われます。
- 医師が開通性ありと判断した場合は、医師の判断によりできるだけ速やかにカプセル内視鏡検査をお受けください。
- 医師が開通性なしと判断した場合は、カプセル内視鏡検査が実施できません。